

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年1月12日(2006.1.12)

【公表番号】特表2005-507861(P2005-507861A)

【公表日】平成17年3月24日(2005.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-012

【出願番号】特願2003-516456(P2003-516456)

【国際特許分類】

C 0 7 D 311/78 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 9/19 (2006.01)

A 6 1 K 31/337 (2006.01)

A 6 1 K 31/352 (2006.01)

A 6 1 K 47/30 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 47/40 (2006.01)

A 6 1 K 47/44 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 311/78

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/19

A 6 1 K 31/337

A 6 1 K 31/352

A 6 1 K 47/30

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/40

A 6 1 K 47/44

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月26日(2005.8.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子を含む、薬学的組成物。

【請求項2】

βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な可溶化キャリアを含み、非経口投与用水溶液で希釈された場合に、該水溶液に実質的に可溶性のままである、薬学的組成物。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の薬学的組成物であって、前記 β ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログは、前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子と複合体化しており、好ましくは、該複合体は、 $0.1 \text{ mg/kg} \sim 10 \text{ mg/kg}$ の範囲の投薬単位を含み、週に 2 回～4 週間に 1 回の間での投与のために処方される、薬学的組成物。

【請求項 4】

β ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子の処方物であって、凍結乾燥されてよく、続いて水溶液に再構築された場合に実質的に可溶性である、処方物。

【請求項 5】

前記 β ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログは、前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子と複合体化する、請求項 4 に記載の処方物。

【請求項 6】

前記 β ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子は、乳濁液として存在する、請求項 4 に記載の処方物。

【請求項 7】

請求項 1、2 または 4 のいずれか 1 項に記載の β ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログを含む少なくとも 1 つのバイアルを含む、哺乳類の癌処置用キット。

【請求項 8】

β ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子を含み、さらに第二抗癌剤および薬学的に受容可能なキャリアを含む、薬学的組成物。

【請求項 9】

前記組成物は、 β ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子の、複合体または溶液を含み、さらに前記第二抗癌剤および薬学的に受容可能なキャリアを含む、請求項 8 に記載の薬学的組成物。

【請求項 10】

前記 β ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子は、第一バイアルに入れられ、前記第二抗癌剤および前記薬学的に受容可能なキャリアは第二バイアルに入れられる、請求項 8 に記載の薬学的組成物。

【請求項 11】

β ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子を含む 1 つまたは複数のバイアルを含み、さらに同一バイアルまたは別個のバイアルに第二抗癌剤を含む、哺乳類の腫瘍処置用キット。

【請求項 12】

前記 1 つまたは複数のバイアルは、前記 β ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログと前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子との複合体を含み、さらに同一バイアルまたは別個のバイアルに前記第二抗癌剤を含む、請求項 11 に記載のキット。

【請求項 13】

患者における癌を処置するための薬学的組成物であって、 β ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子を含む、薬学的組成物。

【請求項 14】

請求項 1～13 に記載の薬学的組成物であって、該薬学的組成物は、前記 β ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子の、複合体または溶液を含む、薬学的組成物。

【請求項 15】

患者における癌を処置するための薬学的組成物であって、 β ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子を含み、非経口投与用水溶液で希釈された場合に、該水溶液に実質的に可溶性のままであ

る、薬学的組成物。

【請求項 16】

前記βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログは、前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子と複合体化する、請求項 15 に記載の薬学的組成物。

【請求項 17】

患者における癌を処置するために、βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子の処方物であって、凍結乾燥されてよく、続いて水溶液に再構築された場合に実質的に可溶性である、処方物。

【請求項 18】

前記βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログは、前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子と複合体化する、請求項 17 に記載の処方物。

【請求項 19】

前記薬学的組成物または処方物は、非経口投与のために処方される、請求項 13 に記載の薬学的組成物、または請求項 17 に記載の処方物。

【請求項 20】

患者における癌を処置するために、βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子を含み、さらに第二抗癌剤および薬学的に受容可能なキャリアを含む、薬学的組成物。

【請求項 21】

前記βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログと、前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子との複合体を含み、さらに前記第二抗癌剤および薬学的に受容可能なキャリアを含む、請求項 20 に記載の薬学的組成物。

【請求項 22】

前記組成物は、水溶液または油溶液である、請求項 1、8、9、13、14、20 または 21 に記載の薬学的組成物。

【請求項 23】

βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子は、前記第二抗癌剤および前記薬学的に受容可能なキャリアと混合されて、1つのバイアルに入れられる、請求項 20 に記載の薬学的組成物。

【請求項 24】

前記薬学的組成物は、非経口投与のために処方される、請求項 20 に記載の薬学的組成物。

【請求項 25】

前記βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子、ならびに前記第二抗癌剤および前記薬学的に受容可能なキャリアは、乳濁液として存在する、請求項 8 または 20 に記載の薬学的組成物。

【請求項 26】

患者における癌を処置するための薬学的組成物であって、βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子を含み、非経口投与用水溶液で希釈された場合に、該水溶液に実質的に可溶性のままであり、さらに第二抗癌剤および薬学的に受容可能なキャリアを含む、薬学的組成物。

【請求項 27】

前記薬学的組成物中の前記βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログは、前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子と複合体化し、非経口投与用水溶液で希釈された場合に、該水溶液に実質的に可溶性のままである、請求項 23 に記載の薬学的組成物。

【請求項 28】

前記βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子、ならびに前記第二抗癌剤および前記薬学的に受容可能なキャリアは、乳濁液として存在する、請求項 26 に記載の薬学的組成物。

【請求項 29】

患者における癌を処置するための、 β -ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子の処方物であって、凍結乾燥されてよく、続いて水溶液に再構築された場合に実質的に可溶性であり、該処方物は、さらに第二抗癌剤および薬学的に受容可能なキャリアを含む、処方物。

【請求項 30】

前記処方物中の前記 β -ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログは、前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子と複合体化する、請求項 29 に記載の処方物。

【請求項 31】

前記 β -ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子は、前記第二抗癌剤および前記薬学的に受容可能なキャリアと混合されて、1つのバイアルに入れられる、請求項 8 または 26 に記載の薬学的組成物、あるいは請求項 29 に記載の処方物。

【請求項 32】

前記 β -ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子は、第一バイアルに入れられ、前記第二抗癌剤および前記薬学的に受容可能なキャリアは第二バイアルに入れられ、該第一バイアルおよび第二バイアルの内容物は、同時投与または連続投与のために処方される、請求項 20 または 26 に記載の薬学的組成物、あるいは請求項 29 に記載の処方物。

【請求項 33】

前記 β -ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子、ならびに前記第二抗癌剤および前記薬学的に受容可能なキャリアは、乳濁液として存在する、請求項 29 に記載の処方物。

【請求項 34】

患者における癌を処置する方法において使用するための、 β -ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子を含む薬学的組成物であって、該方法は、該薬学的組成物を該患者に最初に投与する工程、および続いて該患者を放射線療法に供する工程を包含する、薬学的組成物。

【請求項 35】

前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子は、ポロキサマー、ポビドン K17、ポビドン K12、Tween 80、エタノール、クレモフォール／エタノール、ポリエチレングリコール (PEG) 400、プロピレングリコール、トラップゾール、 α -シクロデキストリンまたはそのアナログ、 β -シクロデキストリンまたはそのアナログ、および γ -シクロデキストリンまたはそのアナログからなる群より選択される水可溶化キャリア分子であり、好ましくは、該水可溶化キャリア分子は、 β -シクロデキストリンであり、より好ましくは、ヒドロキシプロピル β -シクロデキストリンである、請求項 1、2、8、13、15、20、26 または 34 に記載の薬学的組成物、あるいは請求項 11 または 12 に記載のキット、あるいは請求項 4、17 または 29 に記載の処方物。

【請求項 36】

前記可溶化キャリア分子は、油ベースの可溶化キャリア分子であり、好ましくは、リピオドールである、請求項 1、2、8、13、15、20、26 または 34 に記載の薬学的組成物、あるいは請求項 11 または 12 に記載のキット。

【請求項 37】

薬学的に受容可能な脂肪乳剤ビヒクルと処方されて、非経口投与に適した乳濁液を形成する、 β -ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログを含む、薬学的組成物。

【請求項 38】

β -ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な脂肪乳剤ビヒクルの処方物であって、凍結乾燥されてよく、続いて水溶液に再構築された場合に実質的に可溶性である、処方物。

【請求項 39】

前記 β -ラパコンの前記処方物中の濃度は、少なくとも 1 mg / kg である、請求項 38

に記載の処方物。

【請求項 40】

薬学的に受容可能な脂肪乳剤ビヒクルと処方されて、非経口投与に適した乳濁液を形成する、 β -ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログを含む、薬学的組成物であって、さらに第二抗癌剤および薬学的に受容可能なキャリアを含む、薬学的組成物。

【請求項 41】

請求項 40 に記載の薬学的組成物であって、前記乳濁液は、前記 β -ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログを含み、そして前記薬学的に受容可能な脂肪乳剤ビヒクルは、以下：

a) 前記第二抗癌剤および前記薬学的に受容可能なキャリアと混合されて、1つのバイアルに入れられるか、あるいは

b) 第一バイアルに入れられ、そして該第二抗癌剤および該薬学的に受容可能なキャリアが第二バイアルに入れられる、
薬学的組成物。

【請求項 42】

請求項 37、38 または 40 のいずれか 1 項に記載の、 β -ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログを含む少なくとも 1 つのバイアルを含む、哺乳類の癌処置用キット。

【請求項 43】

β -ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な脂肪乳剤ビヒクルを含む 1 つまたは複数のバイアルを含み、さらに同一バイアルまたは別個のバイアルに第二抗癌剤を含む、哺乳類の腫瘍処置用キット。

【請求項 44】

患者における癌を処置するために、 β -ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な脂肪乳剤ビヒクルを含む、薬学的組成物。

【請求項 45】

非経口投与のための薬学的に受容可能な脂肪乳剤ビヒクル中に処方される、 β -ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログを含む乳濁液であって、患者における癌を処置するために、さらに第二抗癌剤および薬学的に受容可能なキャリアを含む、乳濁液。

【請求項 46】

患者における癌を処置する方法における使用のために、薬学的に受容可能な脂肪乳剤ビヒクル中に処方される、 β -ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログを含む乳濁液であって、該方法は、該患者に該乳濁液を最初に投与する工程、および続いて該患者を放射線療法に供する工程を包含する、乳濁液。

【請求項 47】

前記乳濁液は、 $0.1 \text{ mg/kg} \sim 10 \text{ mg/kg}$ の範囲の投薬単位を含み、週に 2 回～4 週間に 1 回の間での投与のために処方される、請求項 37、40 または 44 に記載の薬学的組成物、あるいは請求項 45 または 46 に記載のキット。

【請求項 48】

前記癌が、以下：

- a) 1 つまたは複数の固形腫瘍の存在、
- b) 前立腺癌、
- c) 多発性骨髄腫、
- d) 血液腫瘍、
- e) リンパ腫瘍
- f) 卵巣癌、および／または
- g) 乳癌

によって特徴付けられる、請求項 13、15、20、26、34 または 44 に記載の薬学的組成物、あるいは請求項 17 または 29 に記載の処方物、あるいは請求項 45 または 46 に記載の乳濁液。

【請求項 49】

βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログと、薬学的に受容可能な水可溶化キャリア分子との複合体を含む、静脈内投与用の滅菌注射用薬学的組成物。

【請求項 50】

前記組成物は水溶液である、請求項 49 に記載の滅菌注射用薬学的組成物。

【請求項 51】

前記薬学的に受容可能な水可溶化キャリア分子は、ヒドロキシプロピルーβーシクロデキストリンである、請求項 49 に記載の滅菌注射用薬学的組成物。

【請求項 52】

βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログと、薬学的に受容可能な油ベースの可溶化キャリア分子との複合体を含む、静脈内投与のために処方される滅菌注射用薬学的組成物。

【請求項 53】

前記薬学的に受容可能な油ベースの可溶化キャリア分子は、リピドールである、請求項 52 に記載の滅菌注射用薬学的組成物。

【請求項 54】

さらに第二抗癌剤および薬学的に受容可能なキャリアを含む、請求項 49 または 52 に記載の滅菌注射用薬学的組成物。

【請求項 55】

前記βーラパコンの溶液中の濃度は、少なくとも 1 mg/ml である、請求項 2、15、22、26 または 34 に記載の薬学的組成物、あるいは請求項 4、17 または 29 に記載の処方物、あるいは請求項 11 または 12 に記載のキット、あるいは請求項 49 または 52 に記載の滅菌注射用薬学的組成物。

【請求項 56】

前記βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および前記薬学的に受容可能な水可溶化キャリア分子は、乳濁液として存在する、請求項 49 または 52 に記載の滅菌注射用薬学的組成物。

【請求項 57】

薬学的に受容可能な脂肪乳剤ビヒクル中に、βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログを含む、静脈内投与のために処方される、滅菌注射用薬学的組成物。

【請求項 58】

前記脂肪乳剤は、イントラリピッド（登録商標）である、請求項 37、40 または 44 に記載の薬学的組成物、あるいは請求項 38 に記載の処方物、あるいは請求項 43 に記載のキット、あるいは請求項 45 または 46 に記載の乳濁液、あるいは請求項 57 に記載の滅菌注射用薬学的組成物。

【請求項 59】

さらに抗癌剤および薬学的に受容可能なキャリアを含む、請求項 57 に記載の滅菌注射用薬学的組成物。

【請求項 60】

前記抗癌剤は、タキサン誘導体であり、好ましくは、パクリタキセルである、請求項 8、9、20、21、26 または 40 に記載の薬学的組成物、あるいは請求項 29 に記載の処方物、あるいは請求項 11、12 または 43 に記載のキット、あるいは請求項 45 に記載の乳濁液、あるいは請求項 54 または 57 に記載の滅菌注射用薬学的組成物。

【請求項 61】

前記βーラパコンの前記乳濁液中の濃度は、少なくとも 1 mg/ml である、請求項 37、40 または 44 に記載の薬学的組成物、あるいは請求項 43 に記載のキット、あるいは請求項 45 または 46 に記載の乳濁液、あるいは請求項 57 に記載の滅菌注射用薬学的組成物。

【請求項 62】

$0.1\text{ mg/kg} \sim 10\text{ mg/kg}$ の範囲の投薬単位を含み、週に 2 回～4 週間に 1 回の間での投与のために処方される、請求項 19、26 または 34 に記載の薬学的組成物、あ

るいは請求項４９、５２または５７に記載の滅菌注射用薬学的組成物。

【請求項６３】

βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子を含む、被験体の皮膚科的状态を処置するための局所用組成物であって、該皮膚科的状态を処置するために該被験体に局所適用するために処方される、局所用組成物。

【請求項６４】

水溶液または油溶液である、請求項６３に記載の局所用組成物。

【請求項６５】

前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子は、

- a) 水可溶化キャリア分子、または
- b) 油ベースの可溶化キャリア分子

である、請求項６３に記載の局所用組成物。

【請求項６６】

前記βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および前記薬学的に受容可能な可溶化キャリア分子は、乳濁液として存在する、請求項１、２、１３、１５または３４に記載の薬学的組成物、あるいは請求項１７に記載の処方物、あるいは請求項６３に記載の局所用組成物。

【請求項６７】

前記皮膚科的状态は、基底細胞癌、扁平上皮細胞癌、カポジ肉腫、および黒色腫を含む、請求項６３に記載の局所用組成物。

【請求項６８】

以下：

- a) 皮膚癌を処置するか、または
- b) 皮膚科的状态を処置するための、請求項６３に記載の薬学的組成物であって、好ましくは、該薬学的組成物は、局所投与のために処方される、薬学的組成物。

【請求項６９】

局所投与に適切な薬学的に受容可能な脂肪乳剤ビヒクルと処方される、βーラパコン、あるいはその誘導体またはアナログを含む、薬学的組成物。

【請求項７０】

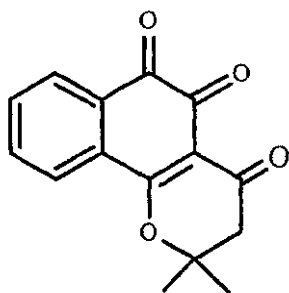
以下：

- a) 皮膚癌、または
 - b) 皮膚科的状态
- を処置するための、請求項６９に記載の薬学的組成物。

【請求項７１】

以下の式：

【化１】



を有する化合物。

【請求項７２】

以下：

- a) 癌、または
- b) 皮膚科的状态

を処置するための、請求項 7 1 に記載の化合物および可溶化キャリア分子を含む、薬学的組成物。

【請求項 7 3】

以下：

i) 癌、または

ii) 皮膚科的状态

を処置するための、以下：

a) 4-アセトキシ-β-ラパコン、

b) 4-アセトキシ-3-ブromo-β-ラパコン、または

c) 2-エチル-6-ヒドロキシナフト [2, 3-b] フラン-4, 5-ジオン、および可溶化キャリア分子を含む、薬学的組成物。

【請求項 7 4】

前記皮膚科的状态は、乾癬である、請求項 6 3、6 8、7 0、7 2 または 7 3 に記載の組成物。

【請求項 7 5】

β-ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログ、および薬学的に受容可能なポリマーを含む、薬学的組成物。

【請求項 7 6】

前記 β-ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログは、前記薬学的に受容可能なポリマーに組み込まれている、請求項 7 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 7 7】

前記 β-ラパコン、あるいはその誘導体またはアナログが、前記薬学的に受容可能なポリマーと混合されている、請求項 7 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 7 8】

前記薬学的に受容可能なポリマーは、生分解性である、請求項 7 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 7 9】

前記薬学的に受容可能なポリマーは、水溶性である、請求項 7 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 8 0】

請求項 7 5 に記載の薬学的組成物であって、前記薬学的に受容可能なポリマーが、ポリビニルピロリドン、ピラン共重合体、ポリヒドロキシルプロピルメタクリルアミドフェノール、ポリヒドロキシエチルアスパルトアミドフェノール、パルミトイル残基で置換されたポリエチレンオキシド-ポリリシン、ポリ乳酸、ポリグリコール酸、ポリ乳酸とポリグリコール酸との共重合体、ポリイブシロンカプロラクトン、ポリヒドロキシ酪酸、ポリオルトエステル、ポリアセタール、ポリジヒドロピラン、ポリシアノアクリレート、およびヒドロゲルの架橋もしくは両親媒性ブロック共重合体からなる群より選択される、薬学的組成物。

【請求項 8 1】

さらに水可溶化キャリア分子を含む、請求項 7 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 8 2】

前記水可溶化キャリア分子は、ポロキサマー、ポビドン K 1 7、ポビドン K 1 2、Tween 8 0、エタノール、クレモフォール/エタノール、ポリエチレングリコール (PEG) 4 0 0、プロピレングリコール、トラップゾール、α-シクロデキストリンまたはそのアナログ、β-シクロデキストリンまたはそのアナログ、および γ-シクロデキストリンまたはそのアナログからなる群より選択される、請求項 8 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 8 3】

さらに油ベースの可溶化キャリア分子を含む、請求項 7 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 8 4】

前記油ベースの可溶化キャリア分子は、リピドである、請求項 8 3 に記載の薬学的

組成物。

【請求項 8 5】

さらに第二抗癌剤および薬学的に受容可能なキャリアを含む、請求項 7 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 8 6】

前記第二抗癌剤は、タキサン誘導体である、請求項 8 5 に記載の薬学的組成物。

【請求項 8 7】

前記タキサン誘導体は、パクリタキセルである、請求項 8 6 に記載の薬学的組成物。

【請求項 8 8】

患者において癌を処置するための、請求項 7 5 ～ 8 7 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物。

【請求項 8 9】

患者において癌を処置するための、請求項 7 5 ～ 8 7 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物であって、該患者は、その後、放射線治療に供される、薬学的組成物。

【請求項 9 0】

前記癌は、1 つまたは複数の固形腫瘍、前立腺癌、多発性骨髄腫、血液腫瘍、リンパ腫瘍、卵巣癌、乳癌、または皮膚癌の存在によって特徴付けられる癌である、請求項 8 8 および 8 9 に記載の薬学的組成物。

【請求項 9 1】

患者において皮膚科的状态を処置するための、請求項 7 5 ～ 8 7 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物。

【請求項 9 2】

前記皮膚科的状态は、乾癬、基底細胞癌、扁平上皮細胞癌、カポジ肉腫、または黒色腫である、請求項 9 1 に記載の薬学的組成物。

【請求項 9 3】

請求項 7 5 ～ 8 7 のいずれか 1 項に記載の薬学的組成物を含む 1 つまたは複数のバイアルを含む、キット。